



## 公開審査での実行委員長挨拶

(2006年11月11日)

- 1, いわきビジネスアイデア・プランコンテスト 2006 (IBPC2006) の公開審査を始めるに当たり、実行委員会を代表し、一言挨拶を述べます。
- 2, 「地域力」という言葉があります。皆さんは、聞いたことがあるでしょうか。「地域力」とは、「地域の総合力」のことと理解しています。  
では、総合力とは、何でしょうか？  
総合力とは、地域の産業の力、市民活動や文化活動などの勢い、教育内容と教育の仕組みの充実、そして地域色豊かな自立（自律）的な自治、ガバナンスです。
- 3, 地域力、地域の総合力の視点から、我がいわきを観察した時に、幾つかの課題が浮かび上がります。  
特に、地域の産業力が弱いということです。仙台や宇都宮と比較するのは酷としても、郡山や日立と比べても、見劣りするものがあります。
- 4, 詳細な事実や統計数字は割愛しますが、1995年から12年間の、「いわきの産業の変遷、企業の勃興」を見るにつけ、地域力が落ちているなど感じてきました。
- 5, いわきビジネスアイデア・プランコンテスト 2006 の目的は、
  - ・ 地域力、地域の総合力の向上
  - ・ その要である、新しい産業、企業、ビジネスを誕生させること
  - ・ そのために、起業欲旺盛な人たちから、アイデアとプランを募集すること
  - ・ そして互いに競い、磨きあい、助け合い
  - ・ ビジネスプランを形にしていくことです。
- 6, 公開審査に参加いただいた皆さんに感謝申し上げます。ぜひ、いわきの地域力を高めるために、協力していきましょう。応募者の皆さん、皆さんのアントレプレナーシップに敬意を称します。実行委員の皆さん、目利き委員の皆さん、献身的なメンター（起業家に助言を与える人、指導者）活動を称えます。
- 7, ただ今から、第6回いわきビジネスアイデア・プランコンテスト 2006 を開会します。スリリングに、大いに楽しんでください。  
そして、私たち自らの手で、いわきを豊かで楽しい地域にしていきたいと思います。